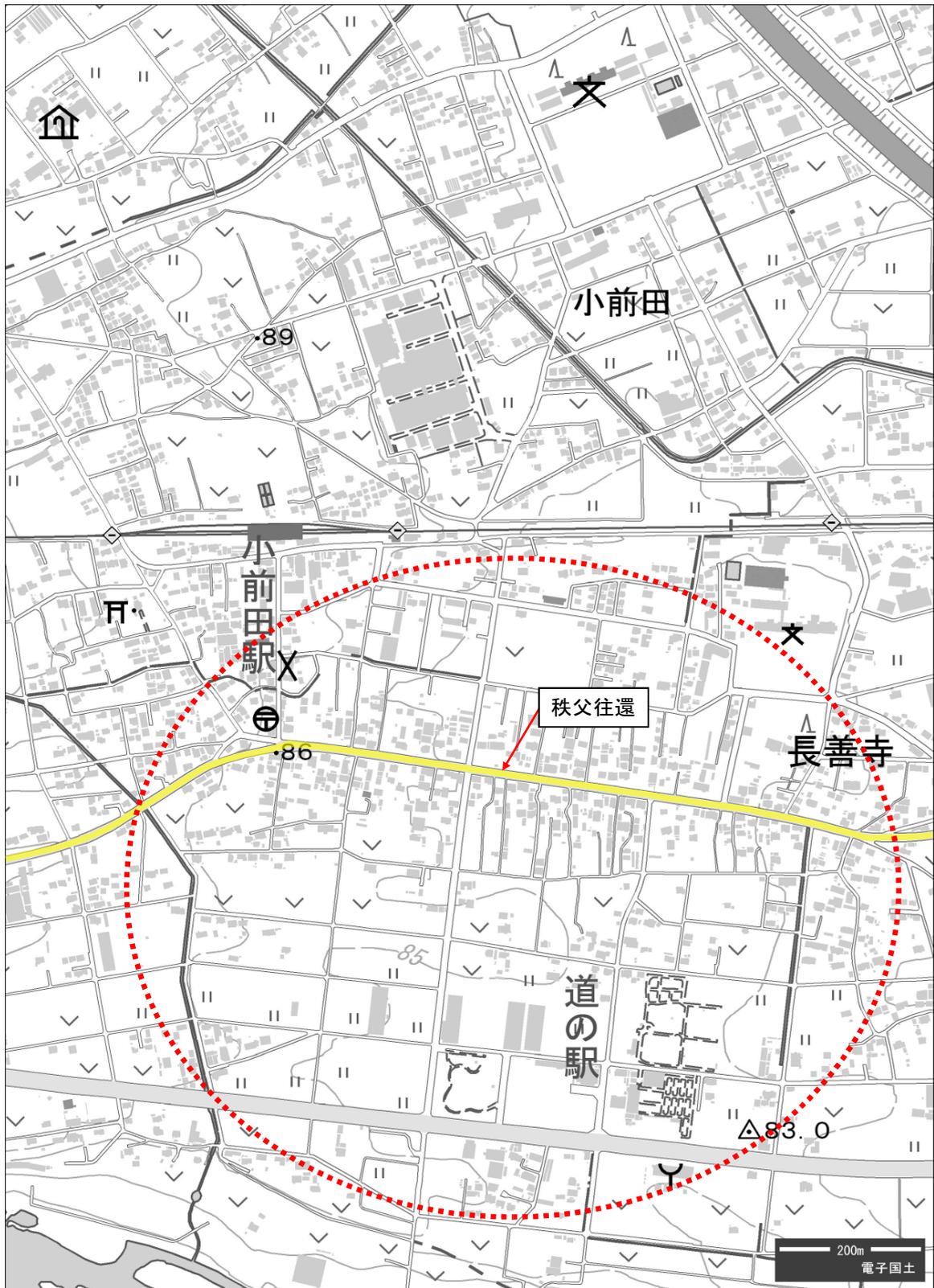


小前田



案内図

 調査範囲

小前田



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

小前田

宿の街道



小前田宿は、川越・児玉往還と秩父往還が交わる場所であり、宿場が存在した。旧花園町、現在は深谷市にあたる。
戦国末期(1590年)鉢形城は、家臣の助命を条件に降伏開城した。
秩父往還沿いとその周辺は、その家臣たちが農民となり住み続け、現在に至った地域である。

(写真は深谷市小前田付近)

1

長善寺



門前に石碑が並ぶここ長善寺あたりから、小前田の宿がはじまる。
鉢形城主であった北条氏邦の三男、光福丸の菩提寺として建立された。

2

住宅



街道にはこうした趣きある木造住宅が多く建ち並んでいる。

3

門



花園の往還沿いには戦国時代、鉢形城の北条氏の家臣が多く居住していたと言われている。落城後も住み続け、現在に至っている。その中でもこの家は家老級の家柄で、現在も立派で美しい一角だ。現在は門だけが残っている。

4

住宅



木製の雨戸が味わい深い越屋根のある木造の民家。手入れの行き届いた松は見事な枝ぶりである。

5

小前田駅



秩父鉄道の各駅舎の外観は、古い新しいはあれどイメージ的に統一感がある。小前田駅舎は中でも小粋組。秩父鉄道らしい赤茶色のトタン屋根に大きな木がかぶさっている。

6

公園



道の駅『はなぞの』に併設された広さ8,800㎡の公園は、ふれあい市民農園と共に道路利用者の憩いとふれあいの場としてやすらぎある空間を提供している。

7	道の駅はなぞの	8	小前田宿の街道
			
<p>国道を走りながら花時計に目を奪われる。インターチェンジ近くという好立地条件もあり、店内はいつも混雑して活気がある。メイン施設の「アルエット」は洋風山小屋風。</p>	<p>真っ直ぐのびる街道沿いには、ゆったり大きな民家が建並ぶ。</p>		